

令和5年第8回中津川市教育委員会（定例会）議事録

日 時 令和5年7月26日（水） 午後1時30分～

場 所 にぎわいプラザ 4-1会議室

出席委員 教育長 岩久 義和
委 員 田島 雅子 橋本 あみる 山本 亮

事務職員 三宅事務局長・氷室教育次長（兼）学校教育課長・河合事務局次長（兼）教育企画課長・松井文化スポーツ部長・吉村文化スポーツ部次長（兼）文化振興課長（兼）市史編さん室長・松原教育研修所長・安江幼児教育課長・青木発達支援センターつくしんぼ所長（兼）発達支援センターどんぐり所長・園原阿木高等学校事務長・渡邊文化スポーツ部対策官・早川生涯学習スポーツ課長（兼）少年センター所長・青木図書館長（兼）蛭川済美図書館長・小池中央公民館長

会議日程 1 開 会
2 前回議事録の承認
3 教育長報告
4 議 事
5 閉 会

日程	議 事	件 名	結 果
第1	報第3号	中津川市小学校及び中学校の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則の制定について	承 認
第2	報第4号	中津川市学校給食共同調理場設置条例等の一部を改正する条例の一部の施行期日の制定について	承 認
第3	議第32号	令和6年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について	承 認

■教育長 本日は三尾委員が欠席ですが、3名の委員の出席を確認し、ただいまから令和5年第8回中津川市教育委員会を始めます。よろしくお願いいたします。

日程第2、前回議事録の承認につきましては、回議とします。

続いて日程第3、教育長報告を行います。前回以降に出席した主な行事等について報告します。お手元の概要をご覧くださいながらお聞きください。

6月22日には令和5年度中津川市学校保健会総会が4年ぶりに集合型で開催され、出席しました。24日は中体連市大会を視察しました。中体連は毎月16日に東濃地区大会までを終えました。酷暑の中での大会でしたか、熱中症による救急搬送や大きな怪我などの報告はございませんでした。25日は中津川市文化協会総合文化祭に出かけました。26日は市議会6月定例会（最終日）に出席しました。30日は東濃地区教委育長会に出席しました。当日は警報の発令が予想される天候だったため、教育長のみ集合、各市教育委員会の次長さん方には教育委員会に残っていただいて、リモートで参加していただきました。今後そういった急な対応も必要なことがあると感じました。

7月に入り、2日は東濃スポーツ大会総合開会式と社会を明るくする運動中津川市大会に出席しました。5日は校長研修会に、6日は県へき地教育振興会総会に出席しました。9日は東濃歌舞伎中津川保存会の吉例歌舞伎大会を拝見してきました。山本委員さんの名演や舞合上で本業を明かされる瞬間を見届けてまいりました。

14日は福岡小学校の登校シミュレーションなどを見てきました。また、同日は県並びに市の感染症対策会議が久しぶりに開催されました。人流が増える季節を迎え、感染の拡大が危惧されるところです。15日は「ひと・まちテラス」の竣工式に出席しました。中津川市にとって念願の施設です。教育委員会も大いに活用したいと考えています。早速、来月17日と18日に県内21市の教育長が参加する研修会が当市で開催されるため、同施設を会場として使用することにしました。県内他市の教育長さん方にも施設を見ていただき、中津川市のことを少しでもアピールできたらと考えています。19日は第2回教科用図書東濃採択地区協議会に出席しました。11教科13種目の採択案が整いましたので、本日、議第32号としてお示しします。後ほどご審議いただきます。よろしくお願いいたします。

教育長訪問につきましては、6月27日からの3日間に坂下小中、福岡中、落合小中、7月4日に苗木小中、13日に神坂小中、18日に阿木小中の計11校を訪問しました。お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。以上です。

続いて、今後の主な行事です。明日27日は、中津川市で実施される唯一の中体連県大会（卓球会場）に出向きます。28日は本年度第1回の教育支援委員会に出席します。29日は福岡小学校の竣工式並びに内覧会を行います。委員の皆さんで

ご出席の方はよろしく申し上げます。

8月2日からは「第28回岐阜サマー・サイエンス・スクール」が始まります。昨年度までのサテライト会場の設置に加えて、今回は、ひと・まちテラス1階ロビーでのライブ配信も計画しています。10日は阿木こども園を訪問し、午後は博物館等協議会に出席する予定です。以上です。

次に、教育委員会事務局並びに文化スポーツ部から報告します。

三宅教育委員会事務局長。

■事務局長 初めに、新福岡小学校の建設工事につきましては、検査等も完了し、7月7日に引き渡しを受け、完成しました。教育委員の皆様にはこの2年余り大変ご心配等をおかけしました。4月からの仮校舎での学校生活は、無事7月20日に夏休み前集会を迎えることができ、21日から夏休みに入っています。新校舎は7月7日の引き渡し後、引越し作業、調理場の調整等を行なっており、8月28日の夏休み明け集会・授業開始に向けて準備作業を丁寧に行っているところです。また、7月29日にはいよいよ竣工式を迎えます。この日の午後と翌日30日も含めて内覧会を開催する予定です。

前回以降の主な出席行事について報告します。6月22日に学校保健会総会、26日に市議会本会議の最終日、かやの芽福祉会理事長と面談、30日にWEBによる岐阜サマー・サイエンス・スクール実行委員会、7月5日に校長会、福岡小と下野小の閉校記念誌の受領、10日に県林政部長の新福岡小学校の視察、14日に新福岡小学校の登校シミュレーション、県市コロナ会議、15日にひと・まちテラス竣工式、20日に定例記者会見、安全安心まちづくり推進市民会議、幼児教育・保育施設運営協議会、23日に岐阜県消防操法大会出場選手壮行会、24日に市議会議員による新福岡小学校の視察、26日午前に四役・部長会に出席しました。

次に、教育長訪問は、6月27日に坂下小と坂下中、28日に福岡中、29日に落合小と落合中、7月4日に苗木小と苗木中、13日に神坂小と神坂中、18日に阿木小と阿木中が行われました。今後は、幼保・こども園でも教育長訪問が始まり、8月1日に一色保育園と北野保育園、10日に阿木こども園が予定されています。

今後の予定です。明日7月27日に文部科学省への要望、これは来年度から建設を予定している坂本共同調理場の補助金の要望です。29日に新福岡小学校の竣工式と内覧会、30日にも内覧会を行います。8月2日から4日まで岐阜サマー・サイエンス・スクール、9日に入園フェア、15日に市指名審査委員会が予定されています。以上です。

■教育長 続いて文化スポーツ部から申し上げます。

松井文化スポーツ部部長。

■文化スポーツ部長 続きまして、文化スポーツ部に関わる主な行事や事業について報告します。

6月27日、第52回東濃スポーツ大会に出場する中津川市選手団の結団式が行われました。今回は中津川市を主会場に開催され、18種目に約350名の選手団派遣となります。なお、7月23日現在で中津川市がトップとなっており、冬季のスキーとスケートの2種目の結果を待たずに、今大会の総合優勝が既に決まっております。いつにない余裕のある優勝が成し遂げられたと思っております。選手団がみんな頑張ってくれたということだと思います。6月30日、中山道落合宿本陣整備計画策定委員会が開催され、今後の整備方針などが議論され、本格的な整備着手を2028年からとすることを確認しました。

7月2日、青少年の非行・被害防止全国協調月間、社会を明るくする運動中津川市大会が開催され、内閣総理大臣や岐阜県知事のメッセージ披露、中津川大会の青少年健全育成の活動について宣言を行うほか、少年の主張大会最優秀者による発表が行われました。その後、六斎市会場で街頭啓発活動を実施しました。7月3日、全国中学生女子レスリング選手権大会で優勝した、中津川ジュニアレスリングクラブ所属で第二中学校3年生の小川璃苑（りおん）さんの報告会が開催されました。また、璃苑さんのアジアレスリング選手権大会出場と、姉の中京高校2年生の小川凜佳（りんか）さんのアジアユース大会と世界選手権大会の出場激励会が開催されました。冒頭申し上げた第二中学校3年生の璃苑さんはアジア大会に出場されて見事優勝され、お姉さんは8月にアジア大会と世界選手権大会があり、そちらも好成績が期待され、姉妹併せて何らかの報告会や祝賀会が計画されてくると思っております。7月7日、全国大学総合卓球選手権大会に出場する中京学院大学卓球部男女チームの激励会が開催されました。7月9日、東濃歌舞伎中津川保存会吉例歌舞伎大会が開催され、多くの歌舞伎ファンが詰めかけていました。今回から開催時期を変更しての実施で、おひねり、掛け声も解禁され、地歌舞伎らしさが戻ってきた感じでした。7月10日、全国少年少女カヌー大会と全国中学生カヌースプリント選手権大会に出場される小学生4人と中学生4人の激励会が開催されました。7月11日、国民文化祭第2回岐阜県実行委員会が開催され、俳優の竹下景子さん、紺野美沙子さん、伊藤英明さん、義足のダンサーで下呂市出身の大前光市さんの4人が、国民文化祭の応援大使として委嘱されました。当市におきましては、地域文化発信事業として8事業を計画しています。

7月15日、ひと・まちテラス竣工式典が開催されました。15日から25日までの入館者数は1日平均1740人で、約2万人弱となっております。7月15日、16日、全国高等学校野球選手権記念岐阜大会が夜明け前球場で初めて開催され、

中津高校、中津商業高校の試合があり、それぞれ1回戦は勝利しました。なお、中津工業高校もほかの会場で1回戦を突破しました。7月19日、インターハイのレスリング、ソフトテニス、ウエイトリフティング、サッカー競技や、全国高等学校ビジネス計算競技大会、および高等学校定時制通信制体育大会の剣道、ソフトテニス、陸上、バドミントン競技に出場される高校生16名の激励会が開催されました。7月20日、全国こどもチャレンジカップ第16回全国大会に出場するスタジオフィットネスクラブ所属の15人の選手の激励会が開催されました。

今後の予定です。7月30日、市民文化芸術鑑賞事業として、お手元にお配りした水森かおり・市川由紀乃ジョイントコンサートが開催されます。

8月1日、苗木城跡整備事業内容について、福島県北塩原村議会の行政視察を受けます。8月6日、市民文化芸術鑑賞事業として、映画「二宮金次郎」が上映されます。8月13日、姉妹都市友好推進協会の活動ピーアールとブラジルを身近に感じていただく目的で「ブラジル・デー2023」を開催します。内容はブラジル音楽家コンサートやパネル展示のほか、ブラジル・フードなどの販売も実施します。なお、今年は姉妹都市提携43年を迎え、秋に公式訪問団13名でレジストロ市を訪問する予定です。以上です。

■教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 教育長から中体連の視察の話がありましたが、その成績を教えてください。

■教育長 東濃地区大会が終わった段階で、中津川市は、サッカー競技で1、2位、また、男子バレーボールは決勝が阿木中学校と上矢作中学校の合同チーム対坂本中学校です。ソフトテニスも男女とも団体戦を勝ち抜いて、県まですでに進出が決まっているチームも複数あります。担当が集計していると思います。この後、県大会、その上の大会もあります。昨日、坂本中学校の男子100m×4リレーが、愛媛県で行われる全中に出場を決めています。こういったことが続々と入ってきますので、またご報告させていただきます。

ほかはいかがでしょうか。

ご質問がないようですので、日程第4、議事に入ります。

議事日程第1、報第3号「中津川市小学校及び中学校の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則の制定について」提案説明をお願いします。

河合事務局次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 これについては認めます。

関連で、福岡中学校の工事が遅くなり、完成しましたが、請負会社に何か違約やペナルティーなどがあるのでしょうか。

■教育長 三宅教育委員会事務局長。

■事務局長 今回の工事遅延理由の検証、それに伴う追加費用の負担等は、総務部が主管となり検証委員会を立ち上げる予定です。それに先立ち、現在庁内検証グループで関係書類等の整理をしています。工事が終わったので、もうしばらくしてから本格的に動き始めます。

■教育長 ほかはいかがですか。

ご意見、質問等がございませんので、ご異議がなければ、報第3号については、承認ということによろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 報第3号「中津川市小学校及び中学校の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則の制定について」は、原案どおり承認とします。

続きまして、報第4号「中津川市学校給食共同調理場設置条例等の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則の制定について」提案説明をお願いします。

河合事務局次長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 これについても認めますが、苗木小学校、苗木中学校、蛭川小学校、蛭川中学校の4校へ給食を持っていくということですよ。これは同時に行くのですか、順番に行くのですか。車が何台で、どのようにするのか教えてください。

■教育長 河合事務局次長。

■事務局次長 運搬車4台で4カ所に運びます。同時には行けず、順番にです。600食を2クールで1200食作り、時間をずらし、距離を計算して運びます。

■教育長 田島委員。

■田島委員 他の地域から来た教員の何人もが、中津川の給食はとてもおいしいとおっしゃっています。中津川の特徴なのか、調理員と一緒に乗っていくという話を聞きました。それがコツなのかと思ったりしています。そんなことは聞いたことはありますか。

■教育長 氷室教育次長。

■教育次長 私も中津川以外に瑞浪市と土岐市に勤めた経験があるのですが、土岐市は共同調理場なので一括して作り、どうしても時間の経過で少し冷めていることが起こりがちですが、中津川は温かいものを温かいまま運び、地元のを工夫して出させていただいており、栄養教諭や調理員の真心が本当に詰まっていると感ぜず。本当に評判がいいです。

■教育長 田島委員。

■田島委員 大きな調理場になって、そこから配り始めることになり、条件が変わるかもしれませんが、評判のおいしさが続くといいと思います。

■教育長 ほかはいかがですか。

それでは、ご意見、ご質問等がございませんので、ご異議がなければ、報第4号については承認ということよろしいでしょうか。

ありがとうございます。報第4号「中津川市学校給食共同調理場設置条例等の一部を改正する条例の一部の施行期日を定める規則の制定について」は、原案どおり承認とします。

続いて議第32号「令和6年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について」を議題としますが、その前に、この議事については、教科用図書採択の公正確保および適切な審議環境を整える観点から、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、本日傍聴者はありませんが、非公開にしたいと考えます。また、本日の議事内容及びその結果についても、同一採択地区にある他市の採択に影響を及ぼすことを防ぐため、8月31日まで非公開としたいと考えます。いかがでしょうか。

[異議なし]

■教育長 それでは、議第32号「令和6年度に使用する小学校及び中学校用教科

用図書採択について」は、非公開審議といたします。

事務局から説明をお願いします。

松原教育研修所長。

[事務局から資料に基づき説明]

■教育長 ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がありましたらお願いします。

田島委員。

■田島委員 7月19日、朝9時半から14時半近くまで、私も参加させていただきました。中津川市が担当ということで、セッティングからお弁当の手配など細やかな点まで配慮され、大変だったと思います。お疲れさまでした。

道徳が初めて導入されたときにも、恵那の文化会館で採択に参加したのですが、母親たちから「本が重い」という話が出ました。今回も最初に「本が重い」という話が出ました。なので、研究委員は非常に細やかな方なので、それぞれの本の重さも量って研究の対象にしておられました。児童のため、先生のため、特に東濃は若い先生が多いということで、誰でも教えることができることが重視されていたようでした。研究員たちは吟味を重ねて一番良いであろうものを推薦しておられました。5、6社あったときは、まず2社ぐらいに絞って、また吟味していくという形で、すごく時間がかかりました。

私は以前から、一番良いとみんなが認めるものではなく、2番目に良いと認めるものの方が選ぶに値するのではないかと思っていました。なぜかというと、一番というのは、子供たちの工夫の力、創造の力、コツを見つけた喜びなどがだんだんなくなってしまっているような気がするからです。2番目だとどこか緩いところがある。そこがこれから繋がるのではないかと思っていました。案の定「◎」の数が多いの選ばれていったのですが、数学だけは、東京書籍が「◎」が6個、大日本書籍が「◎」が7個で、「◎」が6個の方が選ばれました。その理由は「児童が考える余地を残す」ということで、これに皆さんが賛同されました。それが非常に嬉しかったです。

■教育長 ほかはいかがですか。

山本委員。

■山本委員 東濃独自の基準で、経験年数の浅い先生でも教えやすいようにという基準があると伺いましたが、具体的には、教科書のどういったところの違いに着目してその基準を判断しているのでしょうか。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 東濃地区は若い先生方が非常に多いです。その人たちでも指導しきれぬ教科書というところで、例えば教科書の中で、具体的に子供たちにどんな質問を投げかければ子供たちの考えが深まっていくのかが明示されていたり、二次元コードで読み取った先に、例えば書写なら、いわゆる書写のイメージだと先生がお手本をまず書くというのがありますが、二次元コードを辿れば動画でプロの書道家が書いた字を見ることができます。しかも、何度も繰り返し見られるという、そういうコンテンツが充実しているものが、若い先生でも指導がしやすい教科書という視点として一つあったと思います。与えすぎてしまうことの是非は、子供たちだけではなく先生たちに対してもどうなのかということについては、協議会の中で話題になっていました。

■教育長 よろしかったですか。

■山本委員 はい。

■教育長 ほかはいかがですか。

橋本委員。

■橋本委員 こんなにたくさんの時間をかけて検討してくださっていることは、子供にとってありがたいと思いました。東濃地区独自の基準で、教員の経験年数に関わらずというところで、子供用の教科書のほかに先生用の教科書があると思います。先生用の教科書の分かりやすさなども検討されたのでしょうか。また、教科書が変わったりして、その使い方の研修会をされているのでしょうか。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 子供たちが使っている教科書に指導のポイントを赤い字で記したいわゆる赤本、朱書き本というものや、それとは別に、単元ごとの指導計画が書かれた指導書等がありますが、今回の調査研究の対象にそれは入っていません。

それと、先生たちの研修は、中津川市の研修所の中で、1年目、2年目、3年目の若い先生を対象にした先生方の研修会はもちろんですが、希望制の夜学という研修会で、授業をどのように仕組んでいけばより効果的な授業ができるかという研修は定期的に行なっています。

■教育長 そのほかいかがですか。

田島委員。

■田島委員 前から疑問でしたが、書写の本には最初に「鉛筆の持ち方」や「机に向かう姿勢」というのがありました。それは全部の本にあると聞きました。いろいろ学校を訪問すると、鉛筆の持ち方が本当にさまざまです。書写の本にある持ち方をしている子もいますが、全然違う子もいます。書写の本で最初に鉛筆の持ち方が

書いてあるのに、なぜ直らないのか教えてください。左利きの子用というのもありますよね。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 今回の書写の教科書で選ばれた光村図書の説明にもありましたが、なかなかすぐには定着しないところがあり、そこが繰り返し指導していく中で確実に定着していくようになっていくのが、今回新しく選ばれた光村図書です。最初に習う字は一だけど、次に習う字が土、習った横画を使った上で新しく縦画を習うという形で、新しく習ったことが入りながらこれまで習ったことを生かしていく、積み重ねをしていける工夫になっています。その中で、鉛筆の持ち方などはどの教科書も大事にしていますが、なかなか定着が難しいところがあると思います。

■教育長 氷室教育次長。

■教育次長 田島委員のご指摘の通り、鉛筆の持ち方もそうですが、姿勢が本当に大事だと思っています。教育長訪問に行っても、教育長がときどき「足ピタ」と言われますが、グー、ピタ、ピンと言って、机との間隔がこぶしのグーで、足をピタッとつけて、背筋をピンというのです。昔は先生方がこだわってよく言われていたのですが、そういった先生も少なくなってきた、教育委員会としては、姿勢については小学校でも中学校でもきちんと指導していただきと見届けながら言っています。今はChromebookがあるので、字を書くことはあまりしなくなったかもしれませんが、きちんと字を書く姿勢は、今後も教育委員会としても見届けて指導していきたいと思っています。

■教育長 橋本委員。

■橋本委員 私は鉛筆の持ち方が変です。小さいときから変で、習字も習っていたし専用の鉛筆も持たされてやっていたんですが、だんだん自分の持ちたいようになってしまったと思います。親も「もういいわ、成績や生活に不便でなければがみがみ言うよりはいいか」というふうで直っていかないのかなと思います。

■教育長 貴重なご意見ありがとうございます。

田島委員。

■田島委員 姿勢は、椅子に座っていること自体が体力が要るし、体幹がしっかりしてないとふにゃつとなってしまう。これも最近では、コロナ禍で運動ができなかったのも、各学校で力を入れて朝や帰りに走ったりして、すごく重視しています。1時間座って授業を聞くのは、とても体力が要ります。まず、勉強する姿勢、力から付けていかないといけませんね。

■教育長 ほかはいかがですか。

山本委員。

■山本委員 教科書自体、検定を通ってきているので、内容の差はそんなに大きくないと思いますが、教えやすいとか教えにくいとか、違いはあるものなのでしょうか。

■教育長 松原教育研修所長。

■教育研修所長 私の専門は国語ですが、国語ですと、やはり発行者によって扱い方、例えば教材の本質に迫っていくような発問が一番用意されているのが光村図書だと感じています。年々改訂が進んでいくたびに、教科書が、授業者にとって教えやすいものにどんどんなっていっていると、国語の教科書を見ていると感じます。

■教育長 今回の教科用図書の特徴に、二次元コードがたくさん掲載されていることがありますが、あのコードから読み取れる内容は、国の検定上はどんな扱いがされていますか。

■教育研修所長 県からは、調査研究はあくまでも紙の教科書を対象にするようにということです。ただし、英語については、デジタル教科書という学習コンテンツが小学校全ての子供たちに来年度配布される予定になっているので、デジタル教科書も調査対象としても良いということが来ています。全ての教科書発行者が位置付けているQRコード、二次元コードについては、あくまでも紙の教科書を対象とするようにということで県も調査をしていますが、県は二次元コードがちゃんとリンクしているか、数がいくつかという程度で終わっています。やはり子供たちは1人1台Chromebookを持っていますので、これからは確実に使っていくという点から、中身に触れないわけにはいかないだろうという理由で、東濃採択協議会では二次元コードにも触れています。

■教育長 ほかはいかがですか。

先ほど、当日の協議会に参加した田島委員からもお話がありましたが、早朝から終日にわたって各市から代表で来てくださった協議会委員に熟議していただきました。私も何度もそういった会に関わっていますが、今回一番たくさんご意見、ご質問を頂戴した会だったと思っています。中津川からは田島委員、PTA代表や中津川市P連の上原会長といった方々、学識経験者としては、中京学院大学の須栗先生といった人たちにもご参加いただいているということ、内々ご紹介申し上げます。

ほかはよろしいですか。

それでは、議第32号「令和6年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について」は事務局提案どおり承認ということでよろしいでしょうか。

[異議なし]

■教育長 ありがとうございます。議第32号「令和6年度に使用する小学校及び中学校用教科用図書の採択について」は、原案どおり承認とします。

これをもちまして、本日の議事はすべて終了しました。委員の皆さん、ありがとうございました。

それでは、事務局から次回の開催日程について、報告をお願いします。

河合事務局次長。

■事務局次長 次回開催日は、令和5年8月16日、水曜日、13時30分から、にぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

■教育長 次回は、令和5年8月16日、水曜日、13時30分からにぎわいプラザ4-1会議室にて定例会を開催いたします。

以上で、令和5年第8回中津川市教育委員会を終了といたします。お疲れさまでした。

[閉 会 (午後2時47分)]